

# 中和会高架橋

移動支保工で施工された24径間連続の高架橋



|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 施主   | 日本道路公団                          |
| 施工場所 | 愛知県豊田市                          |
| 完成年  | 2002年                           |
| 橋長   | 711m(上り:23径間連続)、723m(下り:24径間連続) |
| 形式   | PRC連続2主版桁橋                      |
| 全幅   | 15.99m(上り)、15.51m(下り)           |
| 最大支間 | 33m                             |
| 桁高   | 2.1m                            |
| 架設方法 | ハンガー式移動支保工                      |

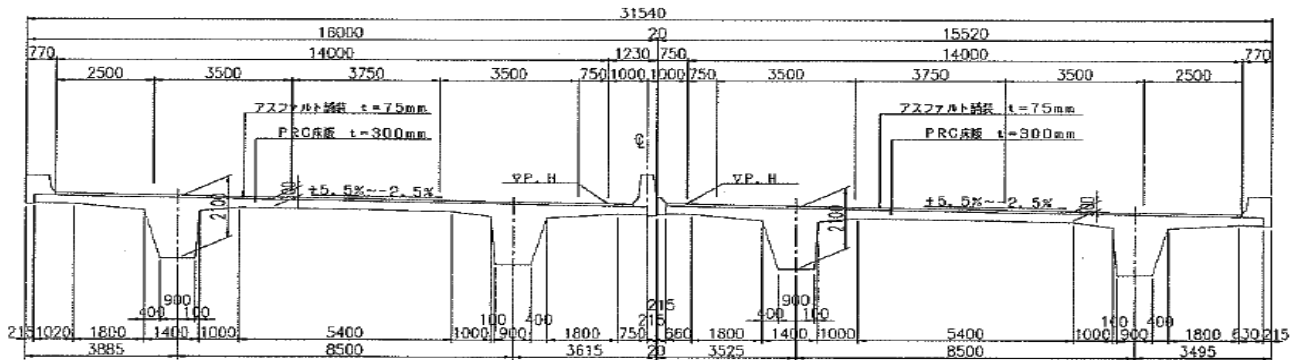
本橋は、超多径間連続のコンクリート橋である。3車線の広幅員で2主版桁構造となっている。PC鋼材には、主方向および横方向ともプレグラウト鋼材が用いられている。移動支保工の前方ベントは、橋脚天端に直接設置し、橋体の床版に開口部を設置した。上り線の施工後に架設機は後退し、横移動して下り線の施工を行った。

超多径間の連続桁であるため支承にはポストスライド方式のLRB支承が用いられた。

(東京方面車線)

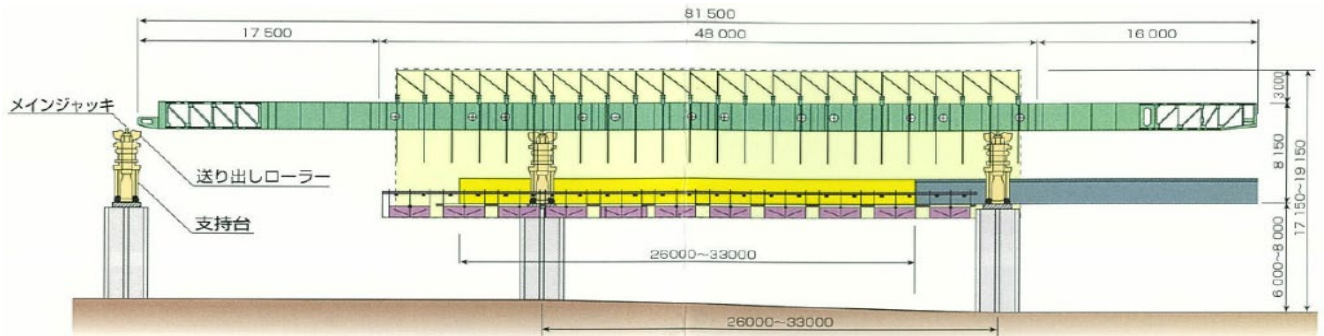
標準断面図

(名古屋方面車線)

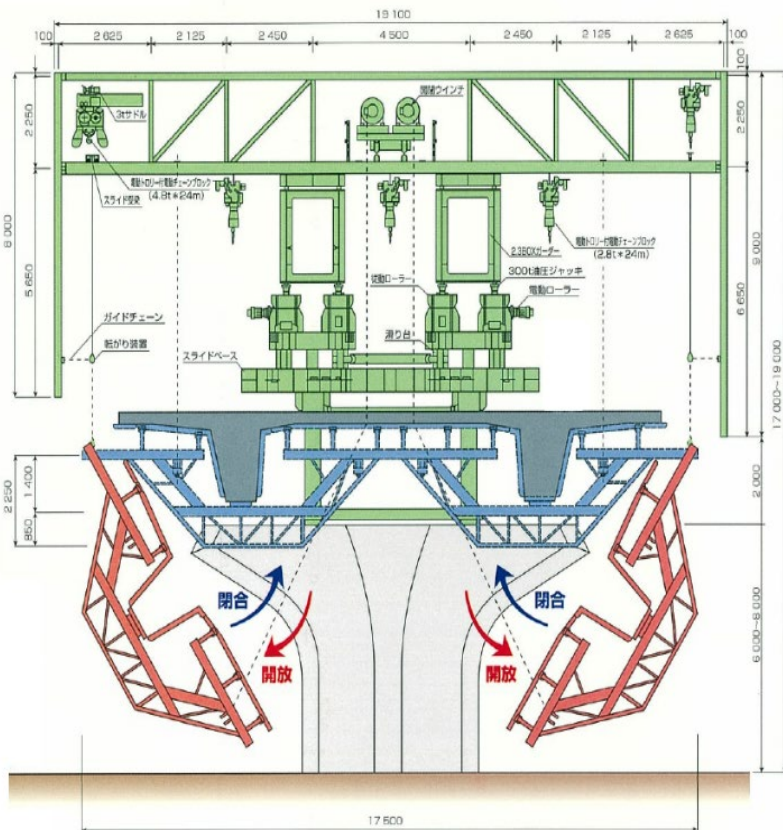


大型移動支保工

側面図



断面図



多径間連続桁構造とLRB支承

